

授業科目等の概要

(ファッショント工芸専門課程 バッグデザイン科) 2022年度

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技			
○				バッグデザイン I	マチの種類を理解した上で、バッグのデザイン、そのデザインに合わせた立体の作り方、型紙の作り方、縫製方法を習得する。皮革用ミシン、革漉き機の操作方法を習得する。	1・通年	120	4		○	○	○		
○				バッグパターンメイキング I		1・通年	120	4		○	○	○		
○				バッグ制作実技 I		1・通年	210	7		○	○	○		
○				バッグハンドワーク I	手縫いの基本をマスターし、手縫いによる小物(財布、ペン立て等)ができるレベルを習得する。手縫いの技法のいくつかを使用するビジネスバッグ製作のパターンまでができるレベルを習得する。	1・後期	60	2		○	○	○		
○				バッグデザイン論	バッグのデザインの方法、考え方を講義、演習を通して学ぶ。 仕事としての商品企画(デザイナーの仕事)について理解し、商品企画力を身に付ける。	1・通年	30	1		○	○	○		
○				自由研究	各課題や個人の自由実習。 通常授業以外の制作や、コンテスト参加、美術館見学などによる、各個人のレベルアップ。	1・通年	60	2		○	○	○		
○				服飾造形	服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。 衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッショント衣料としてのテキスタイルを関連させ指導する。 衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツブラウスの基礎知識・縫製	1・前期	60	2		○	○	○		
○				ハンディクラフト I	各種のクラフトテクニックを、エンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。	1・通年	60	2		○	○	○		
○				デッサン	モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを他者に伝える為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を学び、それらの大切さを理解する。	1・通年	60	2		○	○	○		

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			造形演習	ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。	1・通年	60	2			○	○		○		
○			色彩論・演習	ファッショングッズの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。 色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目指す。	1・前期	30	1	○			○		○		
○			染色演習	染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○		○		
○			グラフィックワーク I	Photoshop・Illustrator初心者を対象とし、Photoshopでは、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。 Illustratorでは、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○		○		
○			ファッショングッズ概論	・ファッショングッズの基礎知識の理解 ・ファッショングッズ構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応	1・後期	30	1	○			○		○		
○			バッグデザイン画 I	バッグの基本型から段階を追い、バッグの構造を理解しながら複雑なデザイン、形状まで描けるようになることを目標とするまた、マーカーによる材質表現テクニックを習得する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			キャリア開発	学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる。	1・後期	30	1	○			○		○		
○			特別講義 I	専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける	1・通年	60	2	○			○		○		

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			校外研修 I	学生同士のコミュニケーション、相互理解、親睦を深める。 団体行動の規律やマナーを守ることをとおして、協調の精神を養う。	1・前期	30	1			○		○	○		
	○		インターンシップ I	企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。 また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。	1・通年	30	1			○		○		○	
合計						18科目		1140単位時間(38単位)				

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			バッグデザインⅡ	基礎知識を基に、さらに高度なデザイン力、パターンメーキング力、縫製テクニックの習得を目指し、企業で即戦力として活躍できるスキルを身につけることを目標とする。テーマごとに基本作品（全員同じ形）を制作し、新しい知識・技術の習得を行い、それを活かしながら応用、発展させた作品制作を行う。また、素材についても様々な方法で加工を施すなど、オリジナリティの追及を目指していく。（基本作品4点、応用作品9～10点）	2・通年	120	4			○ ○		○			
○			バッグパターンメーキングⅡ	現役職人の外部講師による専門知識・技術の習得も行う。（特別講義：ブリーフケース）	2・通年	150	5			○ ○		○			
○			バッグ制作実技ⅡA	手縫いの基本をマスターさせ、手縫いによる小物（財布、ペン立て等）ができるほどのレベルにもっていく。手縫いの技法のいくつかを使用し、ビジネスバッグ製作ができるほどのレベルにもっていく。	2・前期	150	5			○ ○		○			
○			バッグ制作実技ⅡB	量産現場の作業工程及び縫製方法によりバッグを制作し、専門知識と技術を習得する。縫製に適する各種アタッチメントの扱い方を学ぶ。	2・後期	120	4			○ ○		○			
○			バッグハンドワークⅡ	Photoshop・Illustrator初心者を対象とし、Photoshopでは、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着彩ができるようになることを目標とする。Illustratorでは、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。	2・前期	30	1			○ ○		○			
			バッグ量産技術演習	ファッショントピカルな各分野において必要な立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目標とします。	2・後期	30	1			○ ○		○			
○			グラフィックワークⅡ	・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。 ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。	2・通年	60	2			○ ○		○		○	
○			造形デザイン	・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。 ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。	2・通年	60	2			○ ○		○		○	

○	西洋服装史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。	2 ・ 前 期	30	1	○			○		○		
○	バッグデザイン画Ⅱ	バッグデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び創作デザインの企画構成力を目指す。	2 ・ 通 年	60	2			○	○		○		

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要			授業方法	場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択		授業時数	単位数	講義		実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		現代ファッション論	30	1	○			○		○		
	○		英会話	60	2	○			○		○		
○			特別講義Ⅱ	30	1	○			○		○		
○			校外研修Ⅱ	30	1		○		○	○	○		
	○		インターンシップⅡ	30	1		○		○	○	○	○	
○			卒業研究・創作	120	4		○		○	○	○		
合計			13科目	1080単位時間(36単位)									
総合計			31科目	2250単位時間(75単位)									

卒業要件及び履修方法

授業期間等

卒業要件：最終学年の修了、卒業必須単位数の取得	1学年の学期区分	2期
履修方法：単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。